

平成 25 年 10 月 7 日
株式会社博報堂DYホールディングス

博報堂DYグループ、 インターネット広告効果測定ツール「X-ADVANCE」アジア版を開発

株式会社博報堂DYホールディングス（東京都港区、代表取締役社長：戸田裕一）は、平成 22 年 8 月より運用しているインターネット広告効果測定ツール「X-ADVANCE（クロスアドバンス）」のアジア版を新たに開発し、平成 25 年 10 月 7 日よりサービス開始いたします。

「X-ADVANCE」はインターネット広告におけるバナー広告・検索ワード連動広告のクリック数やキャンペーンサイト訪問数などのデータを 1 分単位で測定し、分析することができます。日本国内では、サービス開始以来、多くの広告主のウェブサイトの効果検証に利用していただいています。

近年、アジア各国でのインターネット広告市場の成長が著しく、今後インターネット広告の効果測定の必要性が高まってくることを想定し、X-ADVANCE をアジアでも利用できるように開発いたしました。対応している国・地域は、中国、香港、台湾、タイ、シンガポール、インドネシア、マレーシア、フィリピンとなっています。これにより、博報堂DYグループのアジア拠点の広告主がサービスを利用できるようになります。

今後も、各国のインターネット市場の動向に合わせて対応国を増やす予定です。

<「X-ADVANCE アジア版」の主な特長>

- ① 操作画面は、英語と中国語（簡体字）を選択可能



- ② 検索サイトを通じてアクセスしてくる際のキーワードを判別できるように各国の言語の文字コードに対応
- ③ どの国のどのエリアからアクセスしてきたのかを判別できるようにエリア情報を搭載
- ④ 計測したデータを各国のタイムゾーンに合わせて集計できるよう設定可能

X-ADVANCEは今回開発したアジア版を含め、博報堂DYグループ共通のマーケティング・テクノロジーに関するナレッジ開発を担当する組織である「マーケティング・テクノロジー・センター（センター長：中谷吉孝）」が企画・開発を行いました。今後も、デジタル技術を活用して企業が行うマーケティング活動を可視化するマーケティング・テクノロジーの開発を進めてまいります。

■X-ADVANCEの機能概要

①1分単位分析機能

テレビCM放映直後におけるキャンペーンサイト・広告主自社サイトへの流入状況など、マスメディア広告出稿と連動した効果測定が可能。

②広告主、キャンペーン特性に応じた詳細分析機能

コンバージョン数、サイト訪問者数、サイト滞在時間など、100項目以上の指標を自由に掛け合わせ、広告主ごと、マーケティング・キャンペーンごとに柔軟な分析が可能。

③検索キーワード（SEO）分析機能

キャンペーンサイトへの流入に影響を与える検索キーワードについて把握し、テレビCM、新聞広告のメッセージやキャンペーンサイトにおける課題を分析することが可能。

④モバイル分析機能

「PC」・「スマートフォン／タブレット端末」からのアクセス単位で分析を行うことが可能。

⑤地域別アクセス分析機能

テレビCM放映のエリア、新聞広告の出稿エリアごとに、インターネット広告の反応やキャンペーンサイト・広告主自社サイトへの流入状況を分析することが可能。

⑥キャンペーンサイト内での行動履歴分析機能

キャンペーンサイトへアクセスした訪問者のサイト内行動履歴を把握し、サイト構造や各ページデザイン上の課題を分析することが可能。

本件に関するお問合せ：博報堂DYホールディングス

グループ広報IR室 西尾・藤井（TEL：03-6441-9062）